

労働衛生 外 疾病等休業統計



下記統計を求めるときは、小数点以下2位未満を四捨五入して、小数点2位まで表示する。

$$\text{疾病休業日数率} = \frac{\text{疾病休業延日数}}{\text{在籍労働者の延所定労働日数}} \times 100$$

$$\text{病休件数年千人率} = \frac{\text{疾病休業件数}}{\text{在籍労働者数}} \times 1,000$$

$$\text{病休度数率} = \frac{\text{疾病休業件数}}{\text{在籍労働者の延実労働時間数}} \times 1,000,000$$

$$\text{病休強度率} = \frac{\text{疾病休業延日数}}{\text{在籍労働者の延実労働時間数}} \times 1,000$$

トライ!

- 1. 病休強度率とは、在籍労働者の延実労働時間、1,000時間当たり何日の疾病休業があったか示すものである。
- 2. 病休度数率とは、在籍労働者の延実労働時間100万時間当たり何件の疾病休業があったか示すものである。
- 3. 延実労働時間には、残業時間数、休日労働時間数も含めて計算する。
- 4. 病休件数年千人率とは、在籍労働者1,000人あたり何件の疾病休業があったかを示すものである。
- 5. 負傷後続発した疾病については、疾病休業件数には含めない。
- 6. 病休強度率算出に当たっては、年次有給休暇を取った疾病休業日については、疾病休業延日数に算入しない。
- 7. 疾病休業日数率とは、在籍労働者の所定労働日数1,000日当たり何日の延疾病休業日があったか示すものである。

答 1.○ 2.○ 3.○ 4.○ 5.× 6.× 7.×